

上映会 「アニメあらかると！ みてみよう、人形たちの生きる世界」 を開催します

川崎市市民ミュージアムは、令和 8 年 9 月 5 日（土）に新百合トウエンティワンホールにて、上映会「アニメあらかると！ みてみよう、人形たちの生きる世界」を開催します。

4 回目となる上映会「アニメあらかると！」シリーズ。今回は、人形アニメーションを特集します。人形アニメーションは、人形や物体を少しずつ動かしながら 1 コマずつ撮影し、その静止画を連続してつなぎ合わせることで制作される映像表現です。

本上映会では、日本の人形アニメーション史を代表する作品から現在活躍する作家の作品まで、計 5 作品を紹介します。また、関連事業として 7 月 20 日（月・祝）に実施するワークショップ「さわれるシネマ コマ撮りアニメーションをつくろう！」の成果作品も上映します。



©TYO/dwarf・こまねこフィルムパートナーズ
『こまねこ はじめのいっぽ』監督：合田 経郎
(2003 年/ドワースタジオ/デジタル)

開催概要

日 時：令和 8 年 9 月 5 日（土）13：30～15：30（受付開始 12：30）

会 場：新百合トウエンティワンホール

（〒215-0004 麻生区万福寺 1 丁目 2-2 新百合 21 ビル地下 2 階）

定 員：200 名（※事前申込制、自由席、ベビーカー・車いすでの入場可）

料 金：一般 600 円、小中高生 400 円

※未就学児および障害者手帳等をお持ちの方とその介護者 1 名は無料

申込期間：令和 8 年 7 月 28 日（火）10：00～8 月 20 日（木）16：00

申込方法：川崎市市民ミュージアムの Web サイトよりお申し込みください。

※1 組 4 名まで応募可、申込多数の場合は抽選（当選者のみにメールで通知）

▼申込・イベント Web サイト

<https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/34259/>



主 催：川崎市市民ミュージアム

技術協力：有限会社鈴木映画

作品情報



『わらしべ長者』 監督：渡辺 和彦^{わたなべ かずひこ}

(1966年/18分/学研映画/16ミリフィルム)

ひとりぼっちの男の子・乙丸は転んだひょうしに一本のわらを拾いました。わらなんて何の役にも立たないと思ったけれど、予想もしない物々交換がはじまる！



『花折り』 監督：川本 喜八郎^{かわもと きはちろう}

(1968年/14分/有限会社川本プロダクション/デジタル)

立派な桜が咲くお寺に、花見をしたいと二人組がやって来ました。留守番をしていた小僧は二人を追い返したけれど、なんだかお酒のいいにおいがしてきて・・・

© 有限会社川本プロダクション



『くまの子ウーフ』 原作：神沢 利子^{かんざわ としこ} 監督：眞賀里 文子^{まが り ぶみこ}

(1983年/18分/マガリ事務所/16ミリフィルム)

ある日、くまの子どものウーフはたまごが黄味と白身でできていることに気づきました。
身の回りのものはみんな何かでできている・・・ではウーフは何でできているのだろう？



『こまねこ はじめのいっぽ』 監督：合田 経郎^{ごうだ つねお}

(2003年/5分/ドワーフスタジオ/デジタル)

こまちゃんはコマ撮りをするネコです。ストーリーを考え、絵コンテを描き、お人形も作って、さあ撮影！と思ったらアクシデント発生・・・無事に完成できるのでしょうか？

©TYO/dwarf・こまねこフィルムパートナーズ



『ひみつの住人』 監督：はと (秦 景子)^{はた けいこ} / 飯田 晴奈^{いいだ はるな}

(2018年/5分/アート・アニメーションのちいさな学校/デジタル)

社長とネコが暮らすお屋敷に、ドロボウが侵入！このままでは大切な物が盗まれてしまう・・・ピンチを救うのは、こっそり住み着いたひみつの住人だった！

【問合せ先】 川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム 古泉^{こいずみ}

電話：044-712-2800 (外線のみ)